

## 地域ケア推進会議 報告書

## 【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2024.4.18
作成 高齢者支援センター	医療と介護の連携支援センター
作成者	佐川

1.開催日時	2024年4月2日	(火)	14:00	～	15:00
2.会場	オンライン				
3.主催センター	連携				
4.参加人数	90名				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 16人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 4人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 22人 (うち、医師 4人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 47人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人	<input type="checkbox"/> 老人会 人	<input type="checkbox"/> 住民 人		
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人	<input type="checkbox"/> 警察 人	<input type="checkbox"/> 行政 人		
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 社会福祉士1人 )				
6.開催テーマ	住み慣れた場所で暮らし続けるために ～第1回 病院選択に当たり、医療と介護で困っていることはありますか？～				
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>医療と介護の連携支援センターへの総合相談の中で、ケアマネや高齢者支援センター等から受診先や入院先等医療機関の情報を求める相談が2023年度は1月現在173件あり、専門職が利用者等から病院選定のための助言を求められる現状が多くある。しかし、専門職の病院選定に関する知識が不足している為、大きな病院を紹介し、病院選択に至っている現状がある。また、一部の高齢者においては地域にかけつけ医を持たずに「大学病院のような大きな病院が安心」と名医と言われている医師を求めて、遠方の大学病院に通っている現状がある。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <p>専門職は、病院選択に関する知識を深め、個別の疾患や身体状況、通院手段等を踏まえた適切な病院選択の助言を行う必要がある。また、高齢化が進む中、身近な地域の中で自分の身体状況をよく知っている「かけつけ医」を持つことの必要性について理解し、説明できるようになることが重要である。</p>				
8.会議の内容	<p>1. 冒頭説明 今回の地域ケア会議開催の主旨・経緯と意見交換時のルールについてセンター長より説明</p> <p>2. 基調講話 講師やました内科・脳神経クリニック 町田市医師会会長 山下 弘一先生</p> <p>① 参加者へ医療機関選択で困ったことの共有の提案(予定)</p> <p>② ①を受け一例として「症状に応じたMRI検査とCT検査の機能や用途の違い」の講話</p> <p>3. GW 病院選択にあたり、医療と介護の関わりでそれぞれの立場で困ったこと」をテーマに意見交換</p> <p>4. 発表 7つのグループから出た意見を発表、全体で共有</p> <p>5. 総括 医療機関選択における医療機関並びに介護事業者からの問題提起と現状を把握</p> <p>6. 会議後 参加者にアンケートを実施。発表されなかった意見や課題の追加確認を実施</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<p>地域ケア会議で発言された意見を元に医療と介護の連携支援センターで分析を行い、以下の4つの意見を抽出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関の情報を得るのにホームページ上では探すのが難しい</li> <li>・医療機関の診療科に関わる細かな情報が見つけられない</li> <li>・病院情報の収集の仕方や信頼のおける検索サイトが分からない</li> <li>・医療機関を選ぶときに主治医意見書を書いてもらえるかわかるという(かけつけ医が書いてくれなかった)</li> </ul> <p>これらの意見から、専門職が医療機関を選定するために必要な情報にたどり着いていない現状が確認できた。そのため、医師や医療機関の関係者とともに、専門職が医療機関を適切に選定するために必要な情報を明確化し、専門職が活用できる仕組み等を検討する。</p>				
10.その他					

医療と介護の連携支援センター 確認日

月 日